

レイカディア大学同窓会

会 員 各 位

平成 29 年 5 月 16 日

作成:本部事務局 草津・栗東支部

第 29 回 滋賀県レイカディア大学同窓会 本部定期総会ダイジェスト版兼議事録

日時:平成 29 年 5 月 16 日(火) 13 時～14 時 45 分

場所:県立長寿社会福祉センター レイカディア大学草津校 大教室 (出席者総数 109 名)

1. 式次第と概要 司会進行:大西 孝夫(草津・栗東支部)

- 1) 開会のことば
- 2) 物故者への黙禱 平成 28 年度に亡くなられた同窓会会員に対し黙禱。
- 3) レイカディア讃歌斉唱
- 4) 会長挨拶 堀江 勇夫氏(中部支部)
- 5) 長寿者慶祝 堀江会長より祝詞と祝い品が手渡しされた。  
\* 米寿慶祝者 : 29 名(内 8 名出席)

6) 来賓祝辞

◇滋賀県レイカディア大学学長・滋賀県社会福祉協議会会長:渡邊 光春 様

\* 建学の精神に則った広範囲にわたる地域奉仕活動が、滋賀“縁”認証団体としても認められた。より一層の活躍を期待します。

◇滋賀県医療福祉推進課長:岡野 和薫 様

\* 一人ひとりが自然と調和して、草の根の活動を行い、自分達の地域は自分達で守るという自主自立の精神など、新しい豊かさを求める活動の発展を祈念します。

7) 議長選出 司会者一任の声をいただき、草津・栗東支部の河前 良和氏を指名

2. 議事審議

1) 第 1 号議案 平成 28 年度事業報告(堀江会長・各部部长)

(1)総括:平成 28 年度の基本方針に掲げた「地域貢献活動事業・組織活性化事業・広報事業・運営事務事業・自己研鑽事業」について誠実に取り組んできた。個別の進捗状況と見えてきた反省点や課題についての報告があった。

- ① 定例行事の推進について、同総会全体で協力し盛り上げていくことができた。
- ②ホームページの充実を図るため、体系的な管理運営の基礎の確立ができた。
- ③「男女共同参画の提唱と平成 28 年度役員構成」について、全支部女性会員の役員就任を志向したが、個別の事情もあり 9 支部中 4 支部が未達となった。
- ④本部役員の一役制については、役職兼務の解消と、全部会の活性化が図れた。
- ⑤「會報・第 33 号」の内容の充実と同窓会入会率の向上寄与について、機関紙としての効果的活用は図れたが、入会率の効用については草津校に課題を残した。

- ⑥支部の区割り変更については、自治体合併の実情に即した対応で課題を解消した。
- ⑦被委嘱委員の職務の共有化は、会議議事録・報告を通じ所期の成果をあげた。
- ⑧「地域活動部会」の新設は実施、同総会の法人成りについては継続テーマとした。

(2) 具体的な活動内容: 事業概要を月日毎に主要点を説明。

(3) 各部会の活動報告:

- ①総務部会: 「平成 28 年度本部定期総会」の開催、「早期脱会者対策」について検討。
- ②研修部会: 「第 9 回 地域活動事例発表会」の開催、「必修講座」聴講会の開催。
- ③広報部会: 「會報 第 33 号」の発行、同窓会 HP の運営、同窓会入会推奨活動。
- ④地域活動部会: 各支部における地域活動の現状把握と助成、「法人化」検討。

## 2) 第 2 号議案 平成 28 年度収支決算報告

### 1. 収入の部 (単位円)

省略

### 2. 支出の部

省略

3. 収入合計 1,247,403 円－支出合計 790,372 円＝次年度繰越金 457,076 円

以上の通り報告します。

会計 森井 幸三

### 4. 監査報告(國松監事)

収支決算報告書・証拠書類・諸帳票等、適正に処理されていたと報告。

\* 質疑応答:

- Q: 法人化の報告で「差し迫った課題ではない」、「また法人化による事務作業の増大が考えられる」という中で、引き続き継続テーマとすることは、方向として法人化する認識か。
- A: 法人化にする思いは本部の活動に対して魅力を感じる、喜びや生きがいを感じるなどへの対応や、組織の体質の改善、自主活動団体としての認知、活動財源の確保など様々なものがある。ただ 28 年度で結論をだすのではなく一度立ち止まって継続テーマとしたい。
- Q: 地域活動費について、支部への補助に対する明確な基準はあるのか。
- A: 支部の冠をつけているボランティア活動に対して補助を行った。該当は 6 支部であった。

\* 第 1 号議案、第 2 号議案は一括審議の結果、賛成多数で承認を得た。

## 3) 第 3 号議案、平成 29 年度事業計画(案)提案説明(堀江会長・各部会長)

(1) 活動の基本方針: 本年度は「地域貢献活動事業・組織活性化事業・広報事業・運営事務事業・自己研鑽事業」に創造性を重んじる視点を加味して重点事業を鋭意進めていく。

- ①平成 29 年度上期中に、レイカディア大学学長懇談会の開催を当局に申し入れする。
- ②定例行事の遂行については、各々専門部会長の自主性と主体性を重んじて取り組む。
- ③ホームページの充実と維持をするために、HP 管理班長の後継者養成と発掘を行う。
- ④男女共同参画の提唱については、各支部の本部役員へ女性会員の適正登用を行う。
- ⑤機関誌「會報」・ホームページの有効活用と各種報道機関への広報アプローチを行う。
- ⑥法人成りについて、「魅力ある本部活動の在り方の探求」とテーマを変えて取り組む。

- ⑦会則を見直し、予算管理や組織運営、事業計画立案の整合性を確保する。
- ⑧支部については運営課題の解決に向けて各支部長の理想や理念の実現を支援する。
- ⑧同窓会全ての活動計画に、滋賀“縁”認証団体であることの自覚と矜持を根底に置く。
- ⑩サポート隊やレイカディアえにしとの連携を図りつつ母校の発展に寄与する。

## (2) 各部会の活動計画

- ①総務部会:「平成 29 年度本部定期総会」の開催、学長との懇談会、会則の改訂検討。
- ②研修部会:「第 10 回地域活動事例発表会」、「必修講座の聴講」、「講演会」の開催。
- ③広報部会:「會報 第 34 号」の発行、HP 関連対応強化、同窓会入会案内の作成。
- ④地域活動部会:地域活動の拡大化、地域活動分野における本部の対応について検討。

## 4) 第 4 号議案、平成 29 年度収支予算(案) (森井 会計)

### 1. 収入の部

(単位円)

省略

### 2. 支出の部

\* 質疑応答なし

\* 第 3 号議案、第 4 号議案は一括審議の結果、賛成多数で承認を得た。

## 5) 第 5 号議案、会則の一部改定について(松本事務局長)

第 5 条・第 6 条、「慶弔に関して弔事を削除」、第 7 条、「語句の統一」、第 8 条、「HP 担当理事の名称変更」について

\* 質疑応答なし

\* 第 5 号議案、賛成多数で承認を得た。

これにて総会議案審議はすべて終了し、河前総会議長 降壇

## 3. 閉会のことば 岩田 和彦副会長

### ☆記念講演

演題:「一代の英雄 秀吉と近江」

講師: 成安造形大学・文教短期大学 非常勤講師 中島 誠一氏

秀吉が一国一城の主となった初めての地、長浜における町づくりを中心にしながら、秀吉が残した有形・無形の文化遺産についてエピソードを交えながらお話をして頂きました。

※総会準備から講演終了まで運営にご尽力いただきました事務局はじめ

草津・栗東支部の皆さん有難うございました。